

『学校経営アクションプラン』を具現化し、学校力をさらに「一步先へ！」 学校経営やAPを推進していくための組織体制の構築を！

管理職のビジョンと戦略を支援する第2回学校訪問の総括（まとめ）については、前号でお伝えをしたところです。

学校全体で一体となって取り組み、取組の成果を確実に上げ、学校力の向上につないでいる学校の工夫として共通に上げられるのは、推進していくための組織づくりです。

従来の校内組織や分掌を見直し、学校経営計画の重点やAPを推進していくための組織体制に改編している学校があります。校内OJTを機能させていくこともねらって、重点課題（重点的取組）ごとにプロジェクト・チーム（PT）を編成し、そのPTが中心となって課題解決（取組の推進）のための計画立案や実践の推進、検証と改善、総括を担当します。

各PTにはプロジェクト・リーダー（PL）において、取組の推進役を担わせます。その際、年功序列ではなく、今後のリーダー育成の視点ももって選出することが大切です。経験豊かな教員には、そのサポートを依頼します。各PTからは積極的な提案を期待し、マンネリ化を防ぎます。

これまで行っていた「企画会議」を見直し、「PL会議」として位置付けて、各PTの進捗状況を確認したり、今後の取り組み方について協議したりする学校もあります。

大事なことは、管理職が各PT任せにしないことです。日頃からPLと話をする中で、指導・助言や励ましを怠らないようにします。

また、各取組の計画や進捗状況、成果等の検証結果などについて、全体で共有する場を定期的に設定しておくことも大切です。

この組織体制を活用して、次のようなAPを推進していくための計画表やスケジュール表を作成されている学校もあります。進捗状況確認のためのチェックシートを活用して、PDCAサイクルを回しています。



このような組織体制の見直しや具体的な計画作成により、先生方一人一人がAPの取組を自分事（ジブンゴト）として捉え、より主体的で対話的で創造的な取組になっていきます！

学校経営目標やアクションプランを具体的に進めていくための計画例

教育目標	経営目標	具体的目標	重点目標	重点的取組	主担当	チーム	何を	いつまでに	どのように	どこまで	検証方法・頻度	
	【知】	1	1 (1)	①								
		2		②								
		3		③								
	【徳】	4	4 (2)	①								
		5		②								
	【体】	6	7 (3)	①								
		7		②								
	【その他】	8	8 (4)	①								
		9		②								

APにしているところは学校経営目標の中の重点を置く目標の中の2つです！
重点的取組の一つ一つは具体的な取組内容の一つ一つで、取組の一つに複数の取組内容を入れないようにすることが大切です。

できるだけAPにまとめる目標以外の目標についても、具体的な取組等をまとめておくと、先生方が取り組みやすくなります！

学校経営目標やアクションプランを具体的に進めていくためのスケジュール（進行管理計画）例

教育目標	経営目標	具体的目標	重点目標	重点的取組	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	【知】	1	1 (1)	①	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		2		②	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		3		③	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	【徳】	4	4 (2)	①	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		5		②	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	【体】	6	7 (3)	①	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	【その他】	8	8 (4)	①	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		9		②	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

月ごとのスケジュールの左側は、APの「取組指標・検証方法」までの部分でも！

